

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学実習 (理学療法学科中心)		必修 (理) 選択 (福)	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 宏史 他	D305	sakamoto	木曜日 10:00~13:00		
授業の目的・概要	医療の基礎となる人体に関する正確な知識を身につける。本科目では、人体の構造の基本となる骨格ならびに筋系について実践的な知識の修得を目指す。 人体を構成する骨や筋、末梢神経についての名称とそれぞれの形、大きさ、特徴ある部分の名称、骨格の連結方法の概要を解説する。各回、学んだ知識の確認として小テスト (スケッチ提出、口頭試問の場合もある) を行う。 感染症予防のため、遠隔授業を取り入れる。メールやマイクロソフト Teams を利用してフィードバックを行う。				
学習上の助言	今回は模型などに触れる機会は持てないが、分かりやすい図を利用して人体の全体や部分の形を理解し、イメージできるようになってもらいたい。				
教科書	解剖学 標準理学療法学・作業療法学 (専門基礎) 第4版/ 野村巖 (編集) / 医学書院 (2017)				
参考書	プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト/ 著: Anne M. Gilroy 監訳: 中野 隆/ 医学書院 (2019) 標準組織学 総論・標準組織学 各論/ 藤田尚男・藤田恒夫/ 医学書院 (2017)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	身体内部の骨格と筋系の構造について、体表に現れる凹凸を手がかりに想像できる。			PT(2), (3), HSU(2)	
②	骨と筋に付けられた名称を正しく使える。			PT(2), (3), HSU(2)	
③	脊髄神経の一般構造について説明できる。			PT(2), (3), HSU(2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	体表の区分と解剖学用語 フィードバック (FB) と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等での授業	教科書と資料を参考に、プリント課題に解答して提出	1	
2	組織について 上皮組織と支持組織 FB と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等での授業	教科書と資料を参考に、プリント課題に解答して提出	1	
3	軟骨と骨 (支持組織) 顕微鏡観察 FB と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等での授業	教科書と資料を参考に、プリント課題に解答して提出	1	
4	心臓の外観と大動脈、大静脈 FB と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等での授業	教科書と資料を参考に、プリント課題に解答して提出	1	
5	心臓の内腔と弁、冠状動脈、冠状静脈 FB と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等での授業	教科書と資料を参考に、プリント課題に解答して提出	1	
6	骨学 (骨格系) 1: 骨の構造と連結について学ぶ。 FB と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等での授業	教科書と資料を参考に、プリント課題に解答して提出	1	
7	骨学 2: 脊柱、胸郭について学ぶ。 FB と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等での授業	教科書と資料を参考に、プリント課題に解答して提出	1	
8	骨学 3: 上肢の骨格 FB と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等での授業	教科書と資料を参考に、プリント課題に解答して提出	1	
9	骨学 4: 骨盤 FB と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等での授業	教科書と資料を参考に、プリント課題に解答して提出	1	
10	骨学 5: 下肢	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1	
11	骨学 6: 頭蓋 1 (外観と頭蓋を構成する骨)	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

12	骨学 7：頭蓋 2（外頭蓋底、内頭蓋底、眼窩、鼻腔）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
13	筋学 1：筋の概略と筋組織 顕微鏡観察	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
14	筋学 2：体幹の筋 1（頭頸部）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
15	筋学 3：体幹の筋 2（胸・腹・背部）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
16	筋学 4：上肢の筋 1（上肢帯の筋）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
17	筋学 5：上肢の筋 2（上腕の筋）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
18	筋学 6：上肢の筋 3（前腕の筋）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
19	筋学 7：上肢の筋 4（手の筋）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
20	筋学 8：下肢の筋 1（下肢帯の筋）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
21	筋学 9：下肢の筋 2（大腿の筋）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
22	筋学 10：下肢の筋 3（下腿の筋）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
23	筋学 11：下肢の筋 3（足の筋）	同時双方向型授業	教科書と資料を解説後に、プリント課題に解答して提出	1			
試	期末試験は行わない						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	70	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		実習時に提示する課題への取組みを評価する。評価全体の 100%				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	添削・評価後返却 (遠隔授業のためメールや Teams 利用)				
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

担当教員：◎坂本 宏史、成 昌燮 （毎回2名で担当）

教員の実務経験： 2名の担当教員は解剖学で博士号（医学）を取得している。本学（専任教員）で長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。坂本は、山梨大学医学部（非常勤講師 平成31年現在）でも解剖学の教育に関わっている。また、成は、中華人民共和国の医師（外科）としての資格を有する。

実践的授業の内容： 解剖学における人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によって理解できると思うが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識やイメージを獲得しにくい部分が多々ある。この授業では、実際に人体解剖に携わってきた教員により、経験に基づく様々な視点から人体の構造についての具体的な解説がなされるため、やがて臨床家となる受講者にとっては実際に即した知識を獲得でき、受講者の疑問への対応を通して、より実践的な教育を受けることができる。感染症予防のため、Teams を使って同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推薦する。また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって再度シラバスが変更される可能性がある。